平成２７年１０月１１日
総合計画審議会資料１３
企画部　　政策推進課

芦屋市総合計画審議会　意見一覧（第６回）

開催	発言者	原案に対する意見区分					施策目標	意見			①意見に対する対応等	②後期（原案）の修正の有無
		取組成果と後期課題	重点施策	重点取組	指標	質問		該当箇所		意見内容		
第6回	内山委員			○			全体	P20	―	「積極的に」などの形容詞などを整理していただきたい。	引き続き，曖昧な表現については，見直し作業を行います。	
第6回	林会長						全体	―	―	周知・啓発という言葉は少し上から目線もあり，使用については注意していただきたい。受け手からの目線も考える必要があるのではないか。	引き続き，計画策定の中でそれぞれの表現を検討し，見直し作業を行います。	
第6回	今川委員						全体	―	―	課題別計画との整合性はどのようにつけるのか。 今回指標を設定するにあたり，それぞれの課題別計画の指標については，修正を行っていくものなのか。	総合計画と整合性を図っています。各課題別計画の指標については，次期計画策定時には踏まえて，見直しを図るように進めていきます。	
第6回	野村委員						全体	―	―	文章が長いものが多く読みずらい。ある程度の長さで短くわかりやすくしてほしい。	引き続き，計画策定の中で，分かりやすくなるよう，見直し作業を行います。	
第6回	野村委員			○			2-1	P21	2-1-1 ②	重点取組②の芦屋市における「芸能」のイメージがわかない。「芸能」というものが「伝統芸能」でないのであれば，芦屋市のイメージとは違うと感じるがどうか。「伝統芸能」であれば，その表記にしてはどうか。	文化基本条例の定義に沿って「芸能」という文言を表現しています。伝統芸能も含めた広い意味で「芸能」としているため，現行の表記とします。	
第6回	福井委員				○		2-1	P21	2-1-1 ②	最終的に住み続けたいというところにつながるのがわかるが，文化活動に特化した指標はないのか。 15-1-1と同じ指標になっていることについて，疑問が感じる。	今後の芦屋のまちづくりの1つとして，文化を創っていきたいと考えています。文化基本条例にあるように個性豊かな文化を大きなまちづくりの考え方の1つとして指標を設定しています。	
第6回	野村委員				○		2-1	P21	2-1-2	指標で「学ばれた市民」となっているが，「学んだ市民」のほうが適切でないか。	再度検討し，自主的な学びや市の事業での受講された方なども含め，「学んだ市民」に修正しました。	○
第6回	野村委員			○			2-1	P22	2-1-3 ①	重点取組①の文章で「子どもが，～～～周知啓発に取り組みます。」という表現は主語と述語があっていないように感じます。子どもが主語であれば，違う表現となるのではないか。	ご意見を踏まえ，「リーフレットや冊子の作成など，芦屋の文化に関する周知啓発に取り組みます。」を「リーフレットや冊子を作成して配布するなど，芦屋の文化について，理解が深まるよう取り組みます。」に表記を改めました。	○
第6回	野村委員			○	○		2-1	P22	2-1-3 ③	重点取組③は「地域の伝統や文化」で，指標では「芦屋の伝統や文化」となっているので，統一したほうがよいのではないか。	「芦屋の伝統や文化」に表記を統一しました。	○
第6回	野村委員				○		2-2	P25	2-2-2	指標の※部分で「61%程度」となっているが，全員にサポートができておらず，これだけしか対応できいていないということなのか。その理由は何か。	日本語指導支援員によるサポートの有無により，支援している割合として61%の数値を算出しています。ただし，サポートについても基準があり，その基準から外れた児童については，対応できいないことも事実としてあります。何をもって十分とするかの判断は難しいが，今後は計画を作り支援を進めていきたいと考えています。	
第6回	林会長				○		2-2	P25	2-2-2	指標の※部分で，程度という表現は曖昧となるため，不要ではないか。	部分の表現が曖昧で，支援の内容もわかりにくいので，「程度」を削除し，「対して，日本語指導支援員配置の」を加筆しました。	○
第6回	内山委員			○	○		2-2 4-1	P25 P34	2-2-1 4-1-1	小学校・中学校での外国語活動や外国語という言葉があるが何を指しているのか。英語なのか，多言語についてなのか，どそれぞれ表現が違うのでわかりづらい。	教科名などの正式名称として，外国語活動と外国語と表記していました。広く外国語（多言語）を指しているものと，英語を指しているものについての区別が分かりずらいため，英語を指す内容については，「英語」や「英語学習」と具体的な表現に修正しました。	○

開催	発言者	原案に対する意見区分					施策目標	意見			①意見に対する対応等	②後期（原案）の修正の有無
		取組成果と後期課題	重点施策	重点取組	指標	質問		該当箇所		意見内容		
第6回	野村委員				○		4-1	P35	4-1-1	指標の「合同研修会」については，全ての私立含めて，本当に合同で行えるものなのか。	合同研修会は，就学前施設間の連携を深めるための取組の重要なものであり，充実するためにも，私立にも必ず声掛けを行い，進めていきたいと考えています。	
第6回	野村委員			○	○		4-1	P35 P36	4-1-2	重点取組①で「学習意欲と学力の向上」と記載があるのに，指標の数値は現状維持となっているどうか。	現状値がこれまでの中で最も高い値であることから，今後もこの高い水準を維持していくことを意図しています。表現方法については検討をしましたが，指標設定シートで説明を記載していることも踏まえ，現行の表記とします。	
第6回	福井委員				○		4-1	P36	4-1-2	小学校の外国語で，「これからも英語を使ってみたい」と答えた児童の割合が現状維持なのはなぜか。	この5年間で，88%から93%の間を推移してます。今後，外国語活動が教科となると，これまでの外国語に慣れ親しむことを目的とした授業内容に，高度な内容が盛り込まれることになるが，中学校外国語との円滑な接続を行うことを踏まえて「これからも英語を使ってみたい」と感じる児童の割合は，現状と同水準を維持していくことを目指します。	
第6回	上月委員				○		4-1	P36	4-1-2	指標でなぜ「中学校の数学」のみが挙がっているのか。 その理由がわかるように記載したほうがよいのではないか。	本市においては数学の授業に，チューターを配置しており，その成果を図るために指標として設定しています。「算数・数学のチューター」と表記を修正しました。	○
第6回	上月委員				○		4-1	P37	4-1-3	指標の「中学校における不登校児童生徒の割合」は，分かりやすいように，全国平均など載せられないのか。また，なぜ中学校だけなのか。	詳細については指標設定シートに記載しています。本市の中学校の不登校生徒の割合は，増加傾向にあり，平成26年度は全国平均値の2.76%を上回り，その対策が急務となっています。中学校の不登校生徒の割合は，ここ数年間では1.97%が最小値であることから，当面は，1.9%以下となることを目指します。	
第6回	寺前委員				○		4-1	P37	4-1-5	指標の「施設整備の実施率」がわかりづらい。現状値とめざす値が「100%」なら，数値化せずに「完了」などの表現にしてはどうか。	ご意見をふまえ検討いたしましたが，本計画における他の施設整備の指標との均衡，整備施設が複数あり，それぞれの施設ごとの指標管理は適切ではないこと，また，大規模な施設整備における指標管理の必要性の希薄などから，指標を削除しました。	○
第6回	今川委員					○	4-1	P37	4-1-5	「公共施設の保全計画」を課題別計画として載せなくてよいか。	「公共施設の保全計画」を追記しました。	○

開催	発言者	原案に対する意見区分					施策目標	意見			①意見に対する対応等	②後期(原案)の修正の有無
		取組成果と後期課題	重点施策	重点取組	指標	質問		該当箇所		意見内容		
第6回	野村委員		○	○			4-2	P38	4-2-1	「重点施策」は，「子ども・若者が将来の夢や希望を持てるよう支援します」だが，「重点取組」の①では，「自立できる社会人になるように」を目標にして，「子どもたちに将来への夢や希望をはぐくむ指導や」となっており，「重点施策」と「重点取組」で言葉が逆転している。目的として何が重要かという言葉の流れをしっかりとらえておかなければ，意図がぼやける。	ご指摘を踏まえ目的を明確に表すため，修正しました。	○
第6回	上月委員				○		4-2	P39	4-2-1	指標「将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合」についてだが，OECDの調査結果によると，日本の子どもたちは，自分に自信がなく，自分によいところがあるとは思っていないということが出ている。このようなこととつながってくるのではないか。この指標だけを取り上げるのではなく，学力の中身や学力向上の施策辺りで，自分自身に自信をもてるような授業展開などを合わせて考える必要がある。	今後の取組の際には，ご意見を参考にさせていただきます。	
第6回					○		4-2	P38	4-2-1	指標の「将来の夢や目標をもっている児童生徒の割合」の目標が低いのではないか。もう少し高いほうがよいのではないか。	数値としてあげたいと考えていますが，飛躍的な向上は難しいと考えており，この5年間ではまず，今回のめざす値を目標としていくため，現行の表記とします。	
第6回	野村委員				○		4-2	P39	4-2-1	指標は「実施回数」ではなく「実施件数」ではないか。	指標を「プログラム実施回数」に修正しておりますので，(回／年)に表記を修正しました。	○
第6回	野村委員			○	○		4-2	P39	4-2-3	あしやキッズスクエアについては，前回も指摘したが，施策4-2の内容ではないのではないか。 これまでの取組の趣旨や経緯としては，やはり相違があると感じます。	あしやキッズスクエアについては，ご指摘のとおり，放課後児童健全育成事業との関係もありますが，地域と連携した放課後の子どもたちの育成という放課後子供教室事業としての大きな目的もあり，低学年も含めた総合的な事業として実施しているところです。 今後，事業の案内やチラシ等の表記ついては，更新に併せ，適切な表記に見直してまいります。	
第6回	野村委員				○		4-2	P39	4-2-3	指標で青少年の自主的活動については，あしやキッズスクエアを8校で開催していくにしても，「17」から「1,870」は飛躍しすぎているのではないか。	あしやキッズスクエアが毎日開催の規模の大きい事業であるため数的には飛躍があるように見えますが，自主的な活動の場の提供とそれを促していくことを目的に大学などと連携して定期的に活動してもらえるように進めており，大きな目標ではあるが，達成できるように実施していきたいと考えています。	
第6回	寺前委員				○		4-3	P41	4-3-3	指標の「危険箇所の改善割合」は毎年100%とし，維持することを目標としているが，関係機関との調整や国道など管理主体が違う部分箇所についても，本当に実現できるのか。	物理的に困難な箇所及び関係機関が実施主体となるものは除いているため，指標に「(市が実施主体となる箇所のみ)」と追記しました。	○

開催	発言者	原案に対する意見区分					施策目標	意見			①意見に対する対応等	②後期(原案)の修正の有無
		取組成果と後期課題	重点施策	重点取組	指標	質問		該当箇所		意見内容		
第6回	寺前委員				○		10-1	P83	10-1-1	緑被率だけでは市民がイメージわかない。市内全域なのか，それとも市街地の緑被率なのか。もし市街地だけなら「市街地緑被率（奥池地区を除く）」などに変えたほうが，市民が見たときにわかりやすいのではないか。	委員のご指摘通り，指標は市街地区域のことですので，表現を追加修正しました。	○
第6回	野村委員			○			10-1	P82	10-1-1 ①	重点取組のオープンガーデンで，最終的には市民全員が花を飾れるようにということを，前回の審議会でおっしゃっていたので，それを記載できないか。そのほうが市がイメージしているのが伝わるのではないか。	「市内を花と緑でいっぱいにする市民による活動」に包括しており，「市民全員が花を飾れるように」という取組はこの後期5年間の中で具体的に目指す状況としては難しいため，現行の表記とします。	
第6回	野村委員			○			10-1	P85	10-1-1 ②	緑のネットワーク形成という言葉がわかりづらい。	再度検討し，「市街地における公園，緑道や街路樹等により緑が連続的につながるような」に修正しました。	○
第6回	工藤委員			○			10-1	P85	10-1-1 ②	緑のネットワークというのは，要は点でするのではなく，線で広がりやつながりを作ってネットワークをつくりたい，ということだと思うので，そのように表現を変更すればわかりやすくなるのではないか。		
第6回	工藤委員				○		10-2	P85	10-2-1	指標で「既存不適格となる広告物の割合」という文言がわかりづらい。 わかりやすく表現を変えられないか。	わかりやすい表現となるよう，修正しました。	○
第6回	野村委員			○			11-1	P89-1	11-1-1 ①	「市民の知識や意識が向上するように」という箇所が上から目線のように感じる。表現を変更したほうがいいのではないか。	後期の課題に対する取組として，「市民と行政が一体となった取組が推進できるように，」に修正しました。	○
第6回	寺前委員				○	○	11-1	P89-1	11-1-1 11-1-2	めざす値については，「一般廃棄物処理基本計画」及び「環境保全率先実行計画」が策定がされた段階で総合計画に反映されるのか。	本来は数値を入れたいですが，計画策定のスケジュールの関係上難しいため，現行の表記としましたが，策定後に設定された値をめざす値とする旨を付記しました。	○
第6回	内山委員	○		○			11-2	P90	11-2	市外から来た人＝転入者 市外から来る人＝市外から（たまに）来る人 と認識していたので，文章を修正して同じ意味で使うなら，「市外からの来訪者」に統一したほうがいいのではないか。	「市外からの来訪者」に統一しました。	○
第6回	野村委員	○					11-2	P90	11-2	市民マナー条例の会議でペットマナーについての話がすごく出ていると聞いた。ペットマナーについても記載し，市外から来た人だけではなく，市内のかたのマナーについても表現したほうがいいのでは。	「市民マナー条例推進計画」の中においても，課題の一つとして「喫煙する人や犬を飼っている人で目の届かないところでのマナー違反が見受けられる」という内容が挙げられていますので，「後期の課題」に表現を追加し，11-2-1の重点取組②の取組の中で課題を解決していきます。	○
第6回	野村委員	○					12-1	P94	12-1	修正箇所について，最初15歳以下の子どもの事故件数について記載しているのに，高齢者は割合のことになっている。また，資料10を見ると実際高齢者の事故件数が減っているので，もう少し書き方を変えた方がいい。原因はよく似ているので，原因をしっかりと書いた方がいい。	交通事故の全体の件数及び高齢者の事故件数は減っていますが，事故のうち高齢者の事故が占める割合は高いことを記載していました。しかしながら，委員ご指摘のように少し読み取りにくいため，表現を修正しました。	○
第6回	野村委員	○					12-1	P94	12-1	修正箇所について，「社会状況の変化とともに」という言葉は必要か。課題があれば具体的に書いた方がいいのではないか。	道路交通法が改正された背景などを具体的に課題となっていることを記載するように文章を修正しました。	○
第6回	野村委員						12-1 12-2	P95 P97	12-1 '12-2	「市民主体による取組」が，他の施策ではすべて体言止めになっているのに，こことP.97では，例えば「自転車事故に関する賠償保険に加入する」など，動詞まで記載しているため，体言止めに統一したほうがよい。	「市民主体による取組」は，基本的に前期基本計画策定時に市民参画によって作られた文章を記載していましたが，統一するためにも本施策目標については，修正しました。	○

<table>
<tr><th rowspan="2">開催</th><th rowspan="2">発言者</th><th colspan="4">原案に対する意見区分</th><th></th><th rowspan="2">施策目標</th><th colspan="3">意　　見</th><th rowspan="2">①意見に対する対応等</th><th rowspan="2">②後期（原案）の修正の有無</th></tr>
<tr><th>取組成果と後期課題</th><th>重点施策</th><th>重点取組</th><th>指標</th><th>質問</th><th colspan="2">該当箇所</th><th>意見内容</th></tr>
<tr><td>第6回</td><td>上月委員</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>12-1</td><td>P94</td><td>12-1-1</td><td>「生活環境に即した内容」という文言がわかりにくいので，意見対応に記載している「地域の特徴にあわせて」という文言に変更したほうがいいのではないか。</td><td>「地域の特徴にあわせて」という文言に修正しました。</td><td>○</td></tr>
<tr><td>第6回</td><td>野村委員</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td>12-2</td><td>P97</td><td>12-2-1</td><td>公共建築物等のバリアフリー化率は，資料10を見ると，5年間で2か所だけ増えると記載している。2か所工事するのが現実的かどうか教えていただきたい。</td><td>保全計画上2か所が想定されているため，指標にて表現しています。ただし，この計画での想定には，幼稚園と保育所が入っていませんので，それらに関しては実施するとなれば，変動してまいります。</td><td></td></tr>
<tr><td>第6回</td><td>寺前委員</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>12-3</td><td>P99</td><td>12-3-2</td><td>重点取組②は大事な問題を挙げているので，指標設定してはどうか。</td><td rowspan="2">地元の方や各団体と現在協議をしており，集約を進めていくという目標はありますが，現時点において，何か所，何台の数量になるかは決まっておりません。したがって，数値目標を設定するのは難しいため現行の表記とします。</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>第6回</td><td>内山委員</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>12-3</td><td>P99</td><td>12-3-2</td><td>重点取組②は，事業が最終であれば指標設定できるが，まだ途中なので，それにも関わらず市の総合計画で表現すると，地元の協議会が聞いていないということにもなりかねない。ここで指標設定するのは
難しいと思います。</td></tr>
<tr><td>第6回</td><td>野村委員</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>12-3
13-2</td><td>P99
P107</td><td>関連する課題別計画</td><td>追記された内容に「公共施設等総合管理計画」があるが，関連する課題別計画に記載は必要ないか。
他にもあるのではないか。</td><td>ご指摘の2か所については記載しました。計画策定の中で，全施策についても記載が必要なものがないか見直し作業を行います。</td><td></td></tr>
<tr><td>第6回</td><td>野村委員</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>13-1</td><td>P102
P103</td><td>13-1</td><td>空き家，空き室の表現を統一したほうがいいのではないか。</td><td>それぞれを「空き家（戸建，集合）」とし，空き屋状況調査については，「利用状況調査」と文言を修正しました。</td><td>○</td></tr>
<tr><td>第6回</td><td>内山委員</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>13-2</td><td>P105</td><td>13-2</td><td>「埋葬方法」という表現をもう少しわかりやすくしたほうがいい。</td><td>分かりやすくなるように「納骨方法」と修正しました。</td><td>○</td></tr>
<tr><td>第6回</td><td>野村委員</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>13-2</td><td>P105</td><td>13-2
下から5行目</td><td>修正箇所の「慎重な取組」とは具体的に何か。</td><td rowspan="2">前回の審議会で，継承できていない墓所についても，上物だけで解決できるのかどうか，また市民のかたのニーズがどれだけあるのかということも含め検討したほうがよいというご意見を受けて「慎重な取組」と表現しましたが，再度検討し，「課題もあることから，これを踏まえた再整備及び管理方法」に修正しました。</td><td rowspan="2">○</td></tr>
<tr><td>第6回</td><td>林会長</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>13-2</td><td>P105</td><td>13-2
下から5行目</td><td>基本的に行政の仕事は「慎重な取組」となるので，あえてここに記載する必要があるのか。
行政だけで決めるものではないということを表現できればいいのではないか。</td></tr>
<tr><td>第6回</td><td>野村委員</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>13-3</td><td>P109</td><td>13-3-3</td><td>重点取組①と②は同じような内容に見える。同じなら一緒にすればいいし，違うなら素人目線でもわかるように明確に違いがわかるように書いてほしい。両方とも利便性という言葉があるので違いがわからない。</td><td>重点施策を「JR芦屋駅南地区まちづくりにおいて，生活利便性を向上させる取組を進めます。」に改め，それぞれの取組を整理し，記載しました。</td><td>○</td></tr>
</table>